楽しみ方いろいろ♪

霧島のゆ

詳細はP12の温泉施設紹介ページ掲載の各施設へお問い合わせください。

温泉を楽しむ 貸し切りゆ

家族湯発祥の地、鹿児島では貸し切り湯を『家族湯』と表す温泉施設が多数あります。これは『家族はもちろん、皆が家族のように親しみ楽しめる貸し切り湯』という意味。霧島・日当山には最も古い家族湯があります。家族の絆を深める『浴育』にも。日帰り旅でも滞在型の旅でも、ゆっくり楽しめます。

[このマークがある施設をチェック!]
家 貸し切り湯・家族風呂　露 露天風呂
食事

くつろぎの時間 女子旅のゆ

お肌つるつる美肌の湯!
霧島の温泉を巡って綺麗を手に入れよう!気心の知れた友人同士で温泉を満喫する旅。パワースポットや美味しいスイーツ、地産地消のヘルシーでおいしい料理、レディースプランのある宿もオススメ!

[このマークがある施設をチェック!]
露 露天風呂　食事
足湯 足湯

トレッキングやサイクリング後のリフレッシュに! 日帰りのゆ

霧島には立寄り湯がたくさんあります。サイクリングやツーリング、ドライブがてらの温泉旅。霧島山の麓や湯けむりと錦江湾に浮かぶ桜島を眺めながら走り、心地よい疲れを霧島の温泉でほぐしてください。

[このマークがある施設をチェック!]
立 立寄り湯・日帰り　足湯 足湯

霧島温泉大使 アピル隊長

温泉で"浴育"のススメ!

アピル隊長ファミリーがススメる "浴育" 4つのキーワード

1 親子のコミュニケーション!
温泉は親子でのコミュニケーションに最適な場所です。親子生活の幸せな時間を提案!

2 親子で「入浴」習慣!
親子入浴は、子ども達の「入浴習慣」を身につける最適な機会。安全で快適な入浴を!

3 入浴でリフレッシュ!
入浴は、汗や汚れだけでなく、カラダの「疲れ」もキレイに洗い流してくれます!入浴でリフレッシュ!

4 温泉で「家族の絆」!
家族旅行で、みんなー緒に温泉に入ることで、素敵な思い出作りと共に、「家族の絆」も深まります!

© PILOT Corporation&アピル隊長プロジェクト「アピル隊長」は株式会社パイロットコーポレーションの登録商標です

温泉の入り方 ～より快適に温泉を楽しむために～

1. 入浴前の水分補給

温泉につかると汗などで体内の水分が失われ、脱水症状になる事も。事前にしっかり水分補給しておきましょう。

2. かけ湯

まずは体の汗やほこりを軽く流します。みんなで温泉を楽しむために、きれいなお湯を共有しましょう。

3. 半身浴

最初から全身浸かるとからだがびっくりしてしまいます。お湯の温度に体を慣らすために、まずは半身浴でゆっくりと。慣れて来たら肩までつかりましょう。

4. 髪・体を洗う

隣りや背後の人に水や石けんの泡がかからないように気をつけましょう。何度も入浴する場合は、洗い過ぎに注意。

5. 全身浴

頭ごと浸からないのが温泉マナー。タオルを浸したり、体に巻いて入浴するのはNGです。長い髪の方はゴムで結わえるなどの気遣いも必要です。

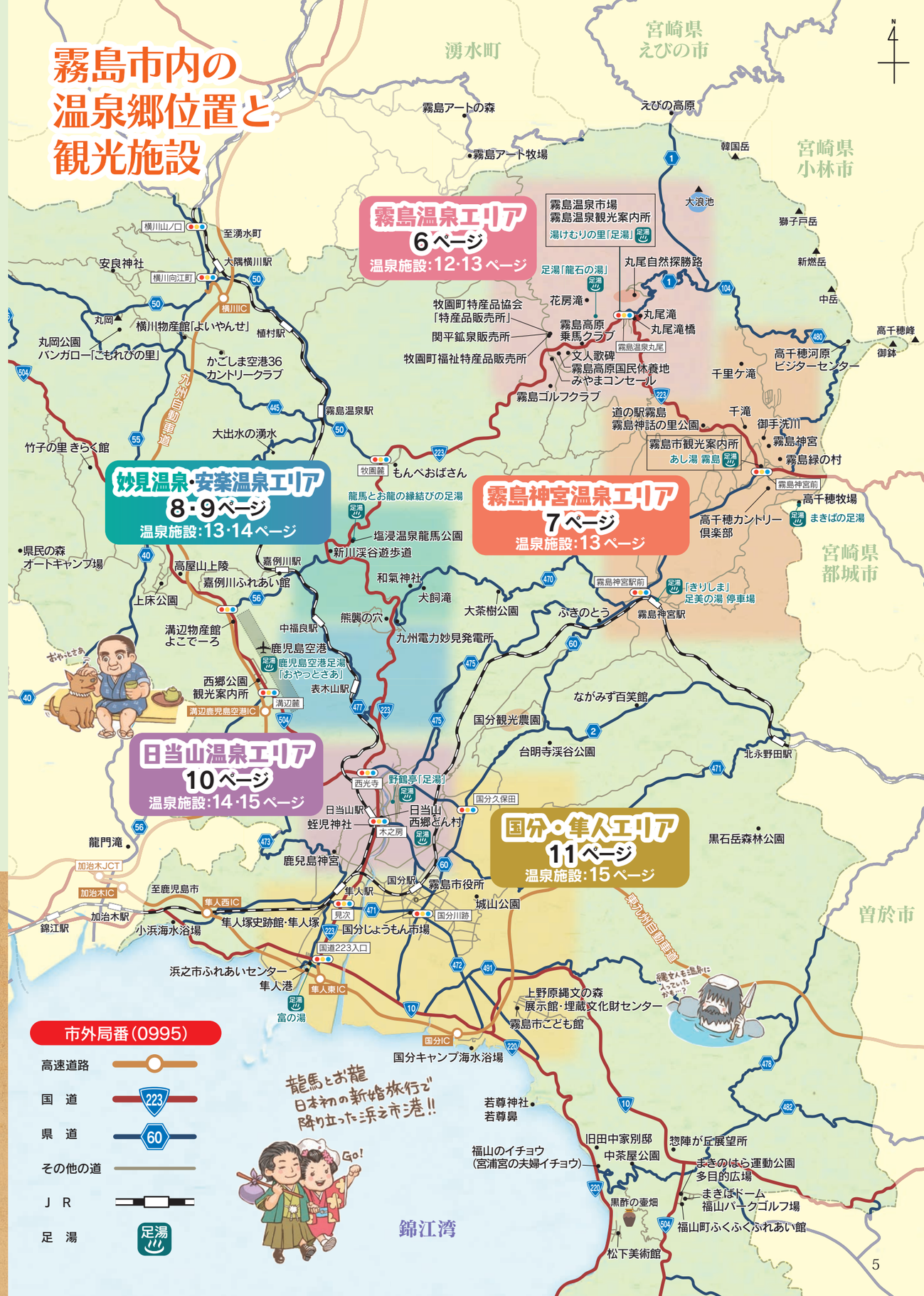
6. 湯あがり前に

温泉の成分をシャワーで洗い流さない。(酸性泉の場合は肌の弱い方は洗い流すこと。)※立寄り湯ではタオル販売をしていない施設もあるので、要持参。

7. 脱衣所マナー

脱衣所は共用の場所。床をびしょびしょにしたり、ドライヤーを使った後に髪の毛が散らばっていたら興ざめです。みんなで気持よく使いましょう。

8. 水分補給

入浴でかいた心地よい汗。意外にたくさんの水分が失われます。汗のぶんだけ水分補給。ミネラル系飲料がおすすめです。

霧島市内の温泉郷位置と観光施設